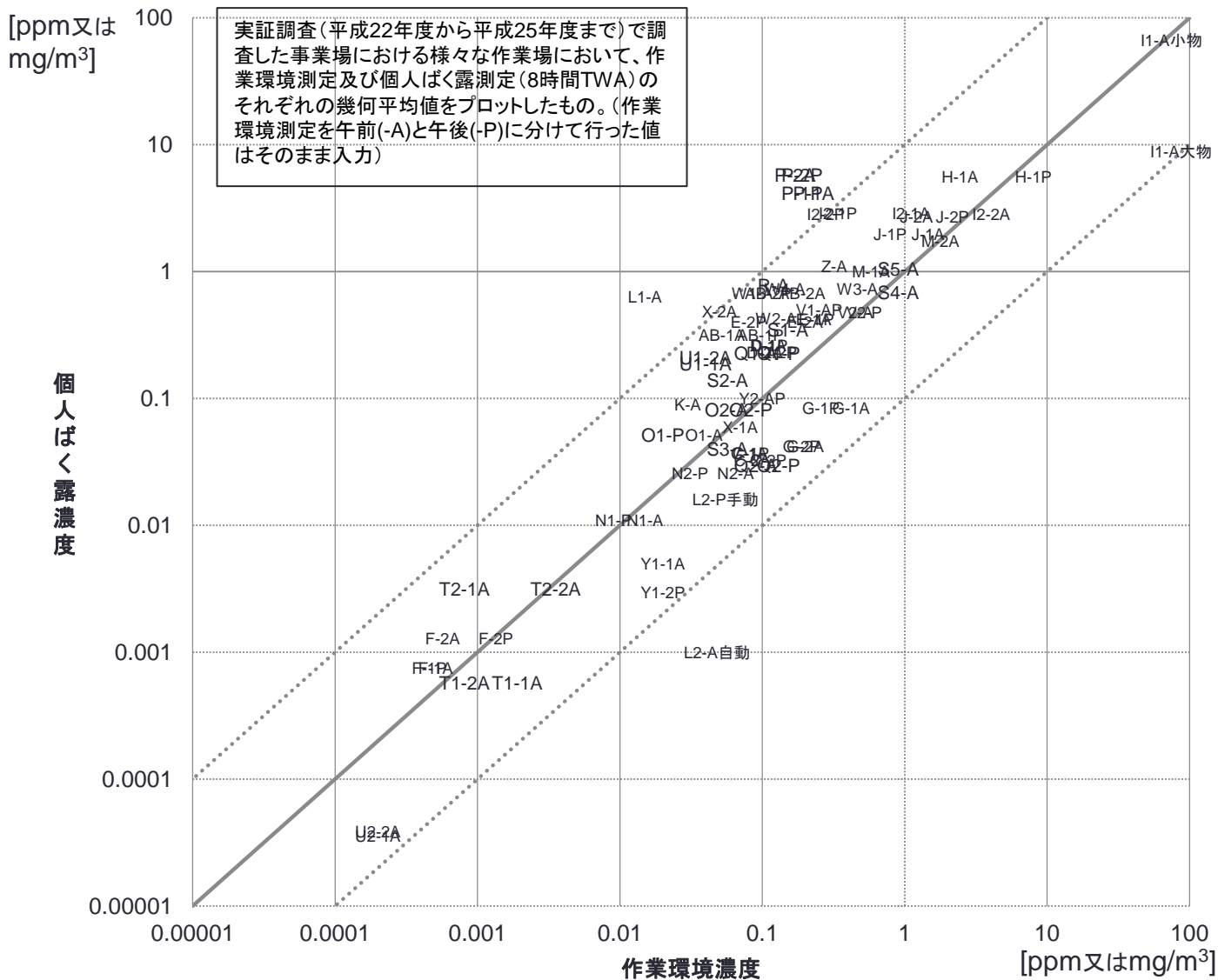


実証調査の結果(平成22~25年度)

作業環境濃度と個人ばく露濃度の関係(H22-25委託事業データより事務局にて作成)



<全体の傾向>

作業環境測定結果と個人ばく露測定結果はよく相関している。
個人ばく露測定の方が、高い値が出る傾向がみられる。

<個人ばく露測定結果が低くなった作業場>

- C: グラビア印刷(混合有機溶剤)
- G: 病理標本作製(ホルムアルデヒド)
- I1: 離型剤塗布
- L2: めっき(自動と手動)
- N2: バフ研磨(ケイ酸粉じん)
- Q2: オフセット印刷
- T1: インジウムボンディング(研磨)
- U2: コバルト化合物原料投入
- Y1: マンガン化合物原料投入
- ※C、G、L2、Q2は作業時以外不在

<個人ばく露測定結果が10倍以上高くなった作業場>

- I2: 仕上げ研磨(鋳物砂)
- L1: 吹き付け塗装
- P: アーク溶接